



Try! up!

Vol. 56 [2024年10月25日発行]

『第1回オープンキャンパス』を開催しました

令和6年8月25日(日)に、第1回オープンキャンパスを開催しました。令和7年度の入学を最後として、令和8年度から学生募集を中止する旨を周知したこともあり、東北各地はもとより関東方面からも多くの方々にご参加いただきました。今回は『模擬授業』と『フィジカルアセスメント』を体験していただいた様子をご紹介します。

『模擬授業』体験では、成人看護学担当の教員から胃の機能と疾患、そして術後の看護について講義を受けました。科学的根拠に基づいた看護を実施するには、解剖生理学や疾患の病態生理を理解することが必要不可欠となっています。胃のしくみや胃がん発症の病態、術後合併症などについてイラストを用いながら説明を受けた参加者の皆さん。最終的にどのように看護へ繋がられるのかイメージができたようでした。

『フィジカルアセスメント』体験では、まずミニ講義で心臓のしくみや心音の聞こえる位置、聴診器の使い方を学びました。その後モデル人形を用いて一人ずつ心臓の音を聴診器で確認。最初は、リアルなモデル人形を前に緊張している様子でしたが、優しく「聴診器を当てますよ」と声がけしてから実施する場面も見られました。体験後には、「このあたりがよく聴こえました」「音の違いが分かりました」などの感想が聞かれました。



『看護師国家試験対策講座』を開催しました ～合格目指して基礎固め!～



残暑が残る令和6年9月15日(日)、駒井翼先生による「テコム出張講座」を開催しました。駒井先生の出張講座は、5月に引き続き今年度2回目となります。今回は、第114回国家試験受験予定者に加え、1年生も参加。約40名が午前10時から午後4時までみっちり講義を受けました。



駒井先生は講義の中で、1つの問題を題材に関連する事柄についても確実に理解できるように進めてくださいます。例えば、子宮体がんの問題をとりあげ、関連する内分泌系や自律神経についても解説を加え、基礎知識の理解が深まるような講義はとても分かりやすいと好評です。

また、「忘れては思い出し、忘れては思い出しが記憶を定着させる」「アウトプットが大事」「教科書を写すだけでは写経。脳の筋トレは、覚えたら(答えを)隠して思い出す。思い出すことが大事」と、記憶に定着させるにはアウトプットが重要であると繰り返しお話がありました。講座の中でもペアワークでアウトプットする機会を何度も設けていただき、効果的な学習方法を実感できる講座となりました。

参加された皆さんはさんたくさん「前頭葉」を使いましたね。駒井先生の言葉通り「学んだあとには思い出して定着させる」ことが大事です。今後も脳の筋トレに励み、知識を確実なものにしていきましょう! また、会場で受講できなかった対象者には、11月16日まで本校専用YouTubeチャンネルで配信しています。是非ご視聴ください。

次回の駒井先生の講座は、11月16日(土)を予定しています。



菅原 朋子 先生
基礎看護学担当

私は普段よく歩くほうなので、特に下肢筋力の衰えはそれほど感じていませんでしたが最近気になるのは嚥下機能のほうです。

頻度としては決して多くないものの、飲み物や食べ物を思いっきりムセこむことがあり、きっと将来は嚥下性肺炎になるのではないかと今から恐怖です。

おそらく、嚥下行動のなかでも口腔器、咽頭器に問題があるのでしょう。口腔内を陰圧にする顎二腹筋や顎舌骨筋、あるいは喉頭蓋を閉じる甲状舌骨筋、嚥下に関わる神経が加齢とともに衰えてきたことが考えられます。

これからは意識的に咽頭関連の筋肉や神経を鍛えなければと思い、先日スピーカー付きカラオケマイクをAmazonでポチリ。楽しい〜！楽しすぎて休日に30曲も歌ってしまいました。この調子なら嚥下性肺炎は回避できるはず?!



山田 真里 先生
成人看護学、看護の統合と実践(災害看護)担当

最近、出かけたときのことで。駅から夫と2人でタクシーに乗り、運転手さんに「道順はお任せします」と伝えました。

すると、運転手さんは「承知しました。伸び伸び行かせていただきます。」と応えたのです。

それに対して、夫は「お願いします」となんのこともなく反応しました。一方の私は「ん？伸び伸びとは…？(人通りも少ないからいいけどさ)」くらいの気持ちでいました。

下車した後改めて夫に尋ねたところ、「運転手さんは『ナビ通りに行く』と言っていた」とのこと。聞き間違いの多い方ではあると自覚していましたが「ここまでできたか」と…。

これからさらに重ねる年齢を思い、気を引き締めなければと耳かきをしました。



学生通信



『患者さんの家族も含めたケアのできる看護師に』

2年生 岡島 真希子 さん
(北海道・40代・医院勤務)

「いつかは看護師に」と考えていました。しかし、いざ一歩踏み出そうと考え始めると、久しぶりに学ぶことへの不安とプレッシャーを感じたのです。どうすればよいか悩んでいた時に後押しになったのは、勤めていた職場の同僚で本校の卒業生もあつた方からの「先生方がすごく優しくかった」という一言。不安が大きかった私にとっては、とても大きな進学を決めるきっかけでした。

入学してから1年間は、何とか時間を見つけて課題やテストなどに取り組んでいたのですが、仕事との両立に苦労しました。そのため、勉強に集中できるよう半年間休職し、10月から

仕事に復帰する予定です。

現在は同じ目標を持った友達もでき、とても心強いです。国家試験対策講座なども「一緒に」と声をかけてもらい出席しただけで内容が良かったりして…。1人だったらきっと参加していなかったと思うと、声をかけてくれる仲間のありがたみを感じています。

また、学びの中で分からないことがあると先生方へ質問することも多いです。どんな質問にも丁寧に応えてくれるので、つい質問をしてしまいます。先生方から授業以外の時間に「最近どう？」と声をかけてくださることも。そんな優しい先生方の存在も大きな支えになっています。

学生として学ぶ中で、改めて自身が暮らす地域の高齢者の割合の多さを実感しました。どんどん平均寿命が延びる中で、患者さんご本人だけでなく、負担を抱えるであろう家族も含めてケアのできる看護師になりたいと考えています。それを自分1人に対応するのではなく、チームとしてケアをしていける環境をつくることができればと思います。

卒業生からの手紙 letter from alumni



佐藤 真也さん

宮城県・50代・
施設勤務
2011年入学

本校を卒業してから11年が経ちました。現在は、医療法人グループの中の老健施設で総看護師長として頑張っています。また、施設近くにある高校の福祉科で、講師として週に1度教壇に立っています。高校の教壇に立つなんて夢にも思っていなかったので、最初は戸惑いもありましたが、今は本当に楽しく授業をさせていただいています。

私が本校に入学したのは東日本大震災の直後。一緒に学んだ仲間も、先生方も本当に大変な時期でした。しかし、その2年間があったからこそ、今どんなことが起こっても「なんとかなる」と乗り越えられる自信につながったと思います。また、本校で『根拠』をもってきちんと分析する力を身につけたことも大きいですね。学校での学びは、苦労した以上に得るものが大きい。職場の若い世代にも是非挑戦して欲しいですし、後押しをしていきたいと考えています。

今学びを進めているみなさんも、本当に大変な思いをしていると思います。でも、同じ大変な思いをするんだったら、ぜひ前向きにポジティブに、2年間の貴重な学生生活を楽しんでいただければと思います。



今は訪問看護、社会福祉士、ソーシャルワーカーをやりながら、姉と立ち上げた有料老人ホームの運営やヘルパーステーションでヘルパーとしての仕事もしています。福祉に関わらず多方面の仕事に関わりたいと考えていたので、本校を卒業してから社会福祉士の資格も取得しました。

本校で学ぶ前は高齢者中心だった関わりが、子どもや障がいのある方などにも広がってきています。ですので、まだまだ学ぶことがたくさんあるなど感じることも多いです。今でも常に勉強ですね。これからも学校での学びを活かし、「これでいい」と決めつけるのではなく、どうやって進んでいったらいいかを模索し続けていきたいと思っています。



本校での2年間は大変だったけれど、仲間と乗り越えられたということが私にとっては大きかった。国家資格の合否に関わらず、それまでのプロセスは必ずその人のためになると思います。諦めなければきっとそれまでと違う人生が見えてきます。頑張ってください。



鳥越 利加子さん

青森県・60代
訪問看護ステーション勤務
2015年入学



宍戸 京子さん

福島県・60代
医院勤務
2018年入学

3年前に看護師資格を取得し、現在は69歳になりました。勤めている職場の医師も「せつかくだから働きなさい」と言ってくださっていることもあり、非正規雇用ではありますが継続して働いています。実は、「年金をもらってお休みしようかな」と考えた事もあったのですが、同じ職場には私より1つ年上の方が現役で働いていて…。私が先に辞めるなんて言えないですよ(笑)。

60代になってから進学したこともあり、学校に通っている2年間は、他のみんなの足を引っ張らないように追いついていこうと無我夢中でした。10年分の国家試験の過去問を3~4回ぐらい繰り返し解いてみたりもしました。こうやって言葉にすると大変なばかりに聞こえるのですが、私は不思議と楽しかったんですよ。

国家試験前はとにかく気持ちが焦ってしまい、「できないんじゃないか」「もう夢だけで終わってしまうのかな」と思うことも。でもそれを乗り越えたるために積み重ねてきたことが合格という結果に繋がり、自分の宝になりました。今学んでいるみなさんの努力が結果に繋がることを祈っています。



1年生

【学籍番号が“24”で始まる学生】

教育課程

1. 地域・在宅看護方法論Ⅱ《対面授業》
日程 10月26日(土)
2. 通信授業(成人Ⅰ・Ⅱ、老年、小児、母性)《配信授業》
日程 11月19日(火)～12月20日(金)

臨地実習

1. 精神看護学実習Ⅱ《見学実習》
日程 11月19日(火)～12月20日(金)

国家試験対策講座

1. 第1回 メディックメディア模試
日程 10月27日(日) 9:50～16:30

2年生

【学籍番号が“24”以外で始まる学生】

臨地実習

1. 見学実習後面接授業《対面授業》
日程 9月27日(金)～11月まで

国家試験対策講座

1. Dr.駒井のテコム出張講座
日程 11月16日(土) 10:00～16:00
2. 第2回 なすもし
日程 仙台会場 11月17日(日) 9:50～16:00
青森会場 11月2日(土) 9:50～16:00
3. 学内講座
日程 12月13日(金)・14(土) 10:00～16:00
4. テコム模試3
日程 仙台会場 12月15日(日) 9:50～16:00
青森会場 12月8日(日) 9:50～16:00
5. Dr.駒井のテコム出張講座
日程 令和7年1月12日(日) 10:00～16:00
6. 第3回 なすもし
日程 令和7年1月13日(月・祝) 9:50～16:00

学校からの

お知らせ掲示板

● 第114回看護師国家試験の日程が決まりました

試験期日

令和7年
2月16日(日)

合格発表

令和7年
3月24日(月)
午後2時

※手続き等については、別途学校からお知らせします。

● 『学校説明会』開催のご案内

本校への入学をお考えの皆さまを対象とした『学校説明会』を開催しています。

開催日程 ① 14:00～16:00

開催地域	開催日	会場
秋田市	11/2(土)	放送大学秋田学習センター(秋田大学内)
山形市	11/10(日)	放送大学山形学習センター(霞城セントラル10階)
弘前市	11/24(日)	放送大学弘前学習センター(弘前大学内)
仙台市	12/1(日) ★	受付を終了しました
宮古市	12/4(水)	
青森市	R71/18(土)	
仙台市	R72/9(日)	

※事前予約制です。(開催日の前日までにお申し込みください)

※12月1日以降の学校説明会・オープンキャンパスは、受付を終了いたしました。参加希望の方は、11月開催の学校説明会への参加をご検討ください。

● 出願希望者の紹介制度について

本校の卒業生又は在校生の紹介により入学された方には、特典(テキスト代の一部減免)があります。同僚やご友人で出願を希望される方がいらっしゃったらぜひご紹介ください。

出願書類に「紹介シート」の同封が必要のため、卒業生・在校生の皆さまは「紹介シート」に必要事項を記入の上、早めに出願者にお渡しください。

※【第2次出願期間】10月19日(土)～
定員になり次第、募集を締め切ります。お早めにご出願ください。